


団体名	瀬戸内を守る明石市民の会		
団体の所在地	明石市	代表者名	小山 英二・柿野 健一

1. 事業名	観察会をとおして自然の豊かさと保護を考える
2. 実施期間	平成22年6月1日～平成23年3月31日
3. 主な実施場所	明石市内の海岸
4. 活動形態	・普及啓発活動
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>① 「海浜植物観察会」を平成22年10月3日に開催。 明石市内に唯一残る自然海岸「望海浜」で秋の海浜植物を観察し、明石川河口部と望海浜の植生と環境について学習した。 講師は兵庫県自然保護指導員の廣瀬重夫先生。 参加者は中高年者12名。</p> <p>② 「バードウォッチング冬の野鳥を訪ねて」を平成23年3月13日に開催。 海岸に面した住吉神社の社叢から瀬戸川河口を経て二見びしゃもんの浜までの半自然海岸で冬鳥34種類を観察した。参加者は子供連れから高齢者までの18名。 講師は「エコウイングあかし」の丸谷聡子さんと長尾高明さん。 協力:エコウイングあかし自然グループ 後援:環境カウンセラー会ひょうご</p>
6. 成果・反響・ 反省点等	<p>① 海浜植物観察会は明石に残された自然海岸とそこに自生する海浜植物の状況を観察し、これまでに観察した養浜地で復活しつつある海浜植物との比較などをとおして自然の保護と利用・再生について考え、理解を深めた。観察会の様子は神戸新聞に掲載された。</p> <p>② バードウォッチングは、海岸の社叢林、小河川の河口、半自然海岸と変化する海岸の自然環境の中で、渡りの始まる前の多種・多数の野鳥を観察する中で、生息環境の変化や海辺の自然環境の回復につながる兆しなどを探した。</p>
7. 成果物	なし
8. 活動写真 説明	 <p style="text-align: center;">観察会の風景</p>